

令和3年1月

新型コロナウイルス感染症蔓延下における救命救急センターに対する臓器提供の実態調査
結果報告書

一般社団法人 日本救急医学会
脳死・臓器組織移植に関する委員会 委員長 稲田 眞治

日本救急医学会では、厚生労働省科学研究「コロナ禍における脳死下・心停止下臓器提供経験施設の実態調査に基づく臓器提供施設の新たな体制構築に資する研究」のもと、コロナ禍における臓器提供に関わる対応の現状を把握し取り組みに反映するため、全国救命救急センターに意識調査を実施いたしました。

ご多忙の中、ご協力頂きました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

ここにその結果をとりまとめましたのでご報告いたします。

【調査対象】

全国救命救急センター290 施設

【調査期間】

令和2年10月～11月

【調査方法】

全国救命救急センター290 施設宛に郵送、回答を無記名によりWEBもしくは郵送で収集した。
290 施設のうち、212 施設より回答を得た。(回答率 73%)

【調査結果】

次ページ以降に示す。

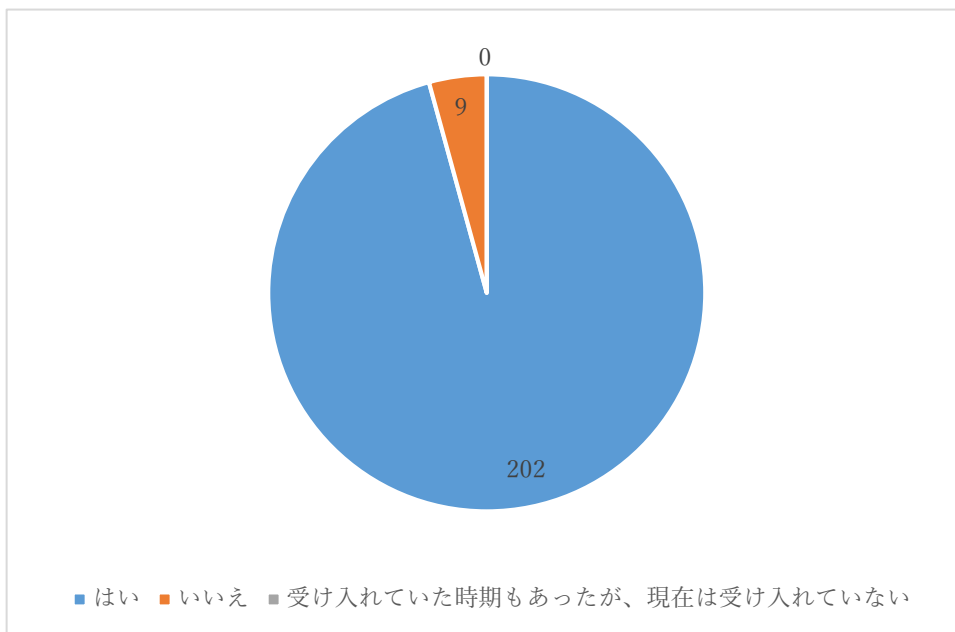
新型コロナウイルス感染症蔓延下における救命救急センターに対する臓器提供の実態調査

【回答に際して】

- 1) 宜しければ、以下の意識調査にお答え下さい。この意識調査は、新型コロナウイルス感染症蔓延下における臓器提供について、救命救急センターに対し無記名で調査するものです。
- 2) 貴施設には回答しない権利があり、回答しなくとも不利益を受けることはありません。

1. 貴院では、行政からの依頼を受けて COVID-19 患者の入院を受け入れていますか？【単一回答】

- | | |
|---|--------|
| <input type="checkbox"/> はい | 202 施設 |
| <input type="checkbox"/> いいえ | 9 施設 |
| <input type="checkbox"/> 受け入れていた時期もあったが、現在は受け入れていない | 0 施設 |



2. 貴院では、発熱・肺炎疑いなど、いわゆるコロナ疑似症の救急患者受入時に一定の防護体制を実施していますか？【単一回答】

□実施している 210 施設

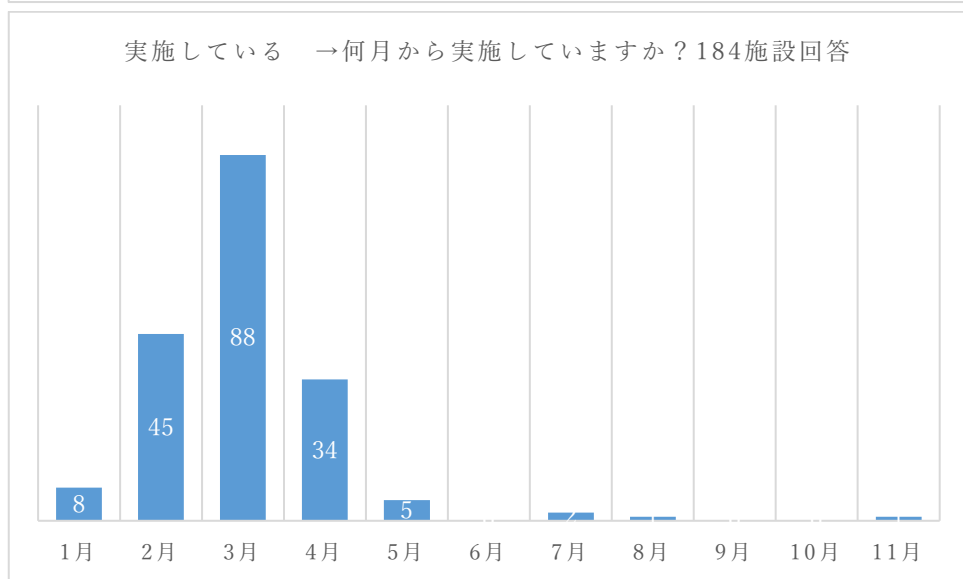
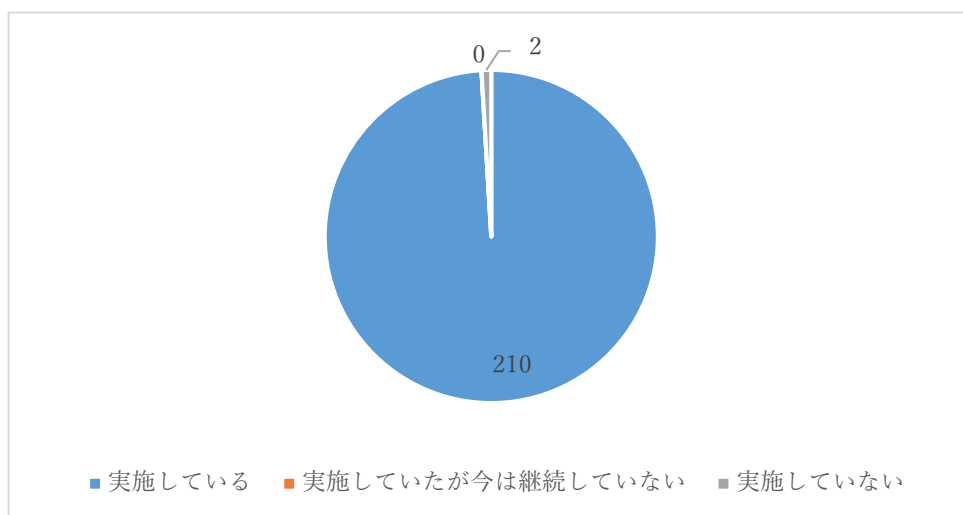
→何月から実施していますか？ 184 施設回答

1月	8 施設
2月	45 施設
3月	88 施設
4月	34 施設
5月	5 施設
7月	2 施設
8月	1 施設
11月	1 施設

□実施していたが今は継続していない 0 施設

→何月から何月まで実施していましたか？ () 月～() 月

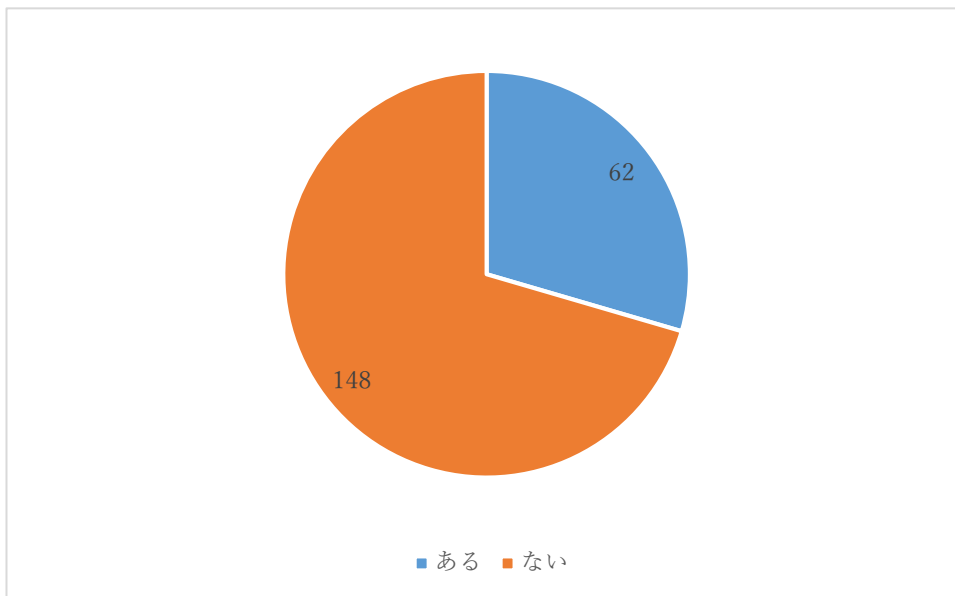
□実施していない 2 施設



3. 貴院では、救急受入時に、受け入れ病棟の制限などに関わるコロナ疑い、コロナ確定患者の受入制限を実施した時期はありましたか？

ある 62 施設 →制限していた時期をお答えください（ 57 施設回答 ）

ない 148 施設



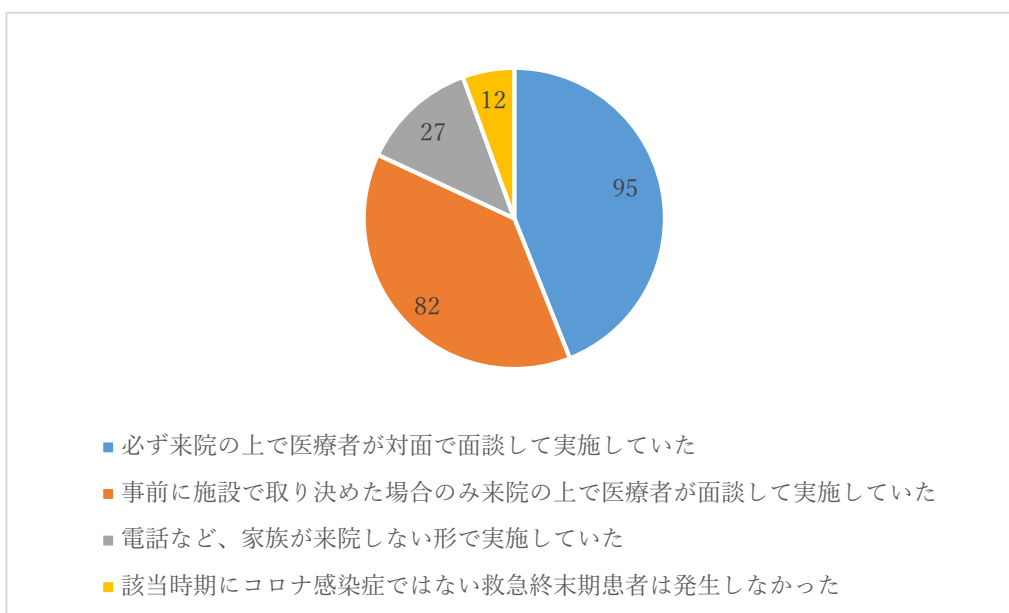
4. 貴院では、2020年3~4月に、コロナ感染症ではない入院中の患者が救急終末期に陥った場合に、患者家族への情報提供をどのような形で行っていましたか？

必ず来院の上で医療者が対面で面談して実施していた。 95 施設

事前に施設で取り決めた場合のみ来院の上で医療者が面談して実施していた 82 施設

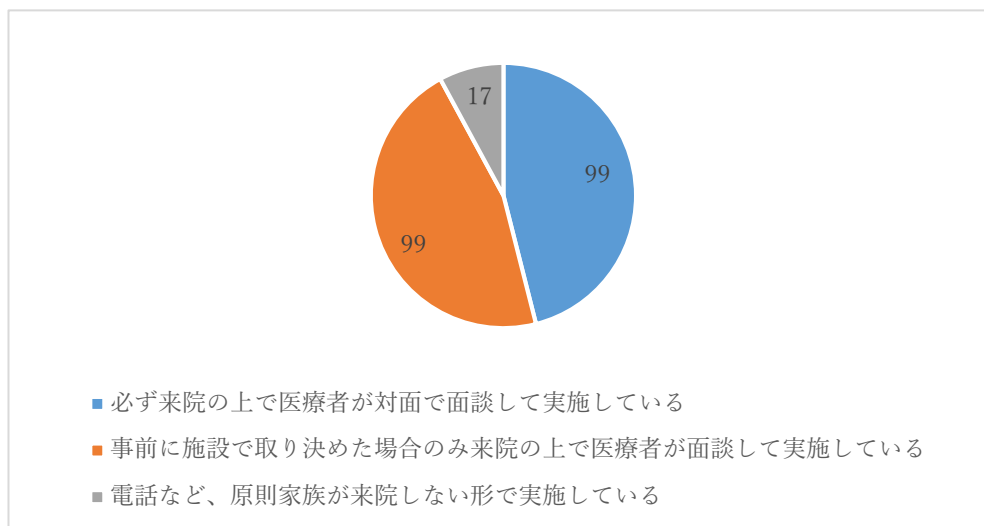
電話など、家族が来院しない形で実施していた 27 施設

該当時期にコロナ感染症ではない救急終末期患者は発生しなかった 12 施設



5. 貴院では、現在、コロナ感染症ではない入院中の患者が救急終末期に陥った場合に、患者家族への情報提供をどのような形で行っていますか？

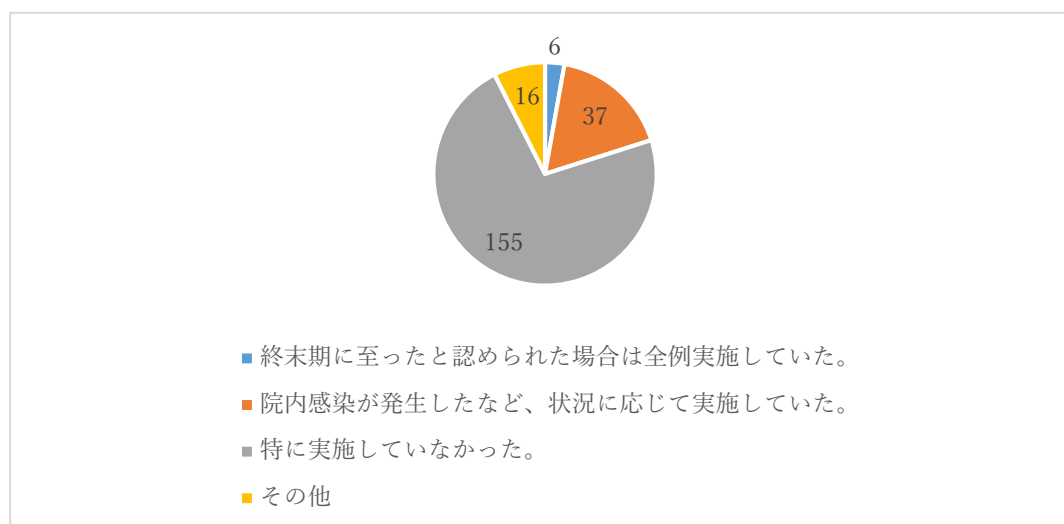
- 必ず来院の上で医療者が対面で面談して実施している 99 施設
- 事前に施設で取り決めた場合のみ来院の上で医療者が面談して実施している 99 施設
- 電話など、原則家族が来院しない形で実施している 17 施設



6. 貴院では、2020年3~4月に、入院時に新型コロナウイルス感染症を疑わなかった重症患者が救急終末期に陥ったのち、何らかの理由で改めてSARS-CoV-2 PCRを実施していましたか？

- 終末期に至ったと認められた場合は全例実施していた 6 施設
- 院内感染が発生したなど、状況に応じて実施していた 37 施設
- 特に実施していなかった 155 施設
- その他 16 施設

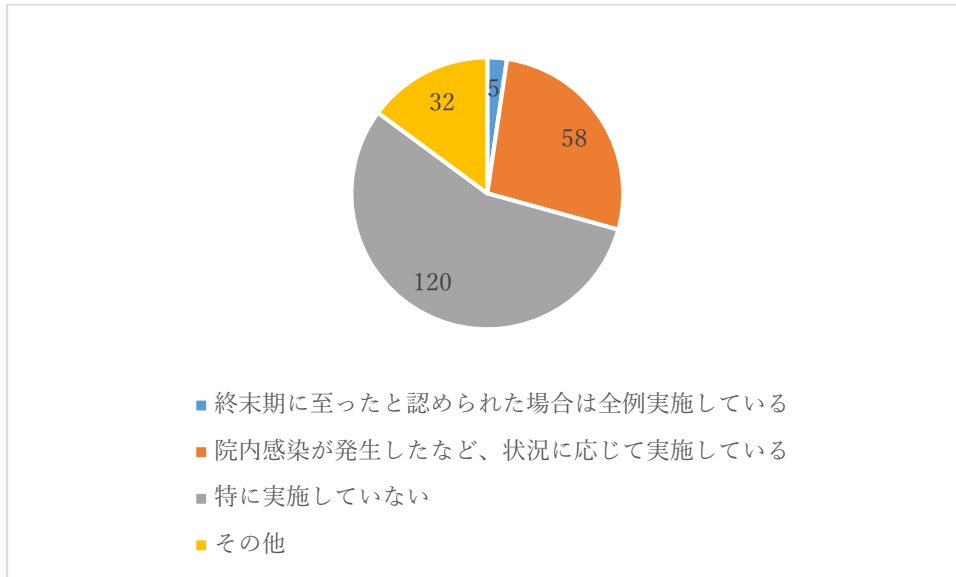
(15 施設回答)



7. 貴院では、現在、入院時に新型コロナウイルス感染症を疑わなかった重症患者が救急終末期に陥ったのち、何らかの理由で改めて SARS-CoV-2 PCR を実施していますか？

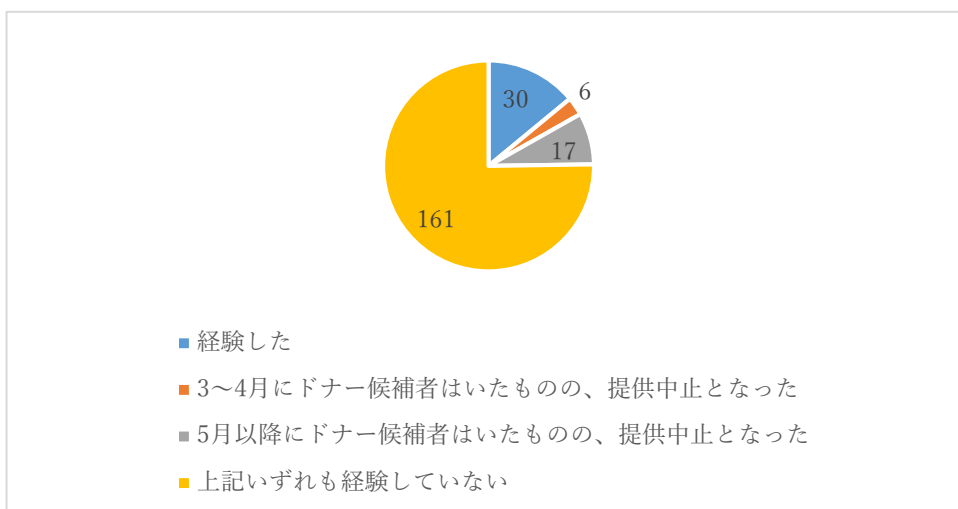
- 終末期に至ったと認められた場合は全例実施している。 5 施設
- 院内感染が発生したなど、状況に応じて実施している。 58 施設
- 特に実施していない。 120 施設
- その他 32 施設

(31 施設回答)



8. 貴院では、2020年3月以降、脳死下・心停止下臓器提供を経験しましたか？

- 経験した → [質問 10](#) へ 30 施設
- 3~4月にドナー候補者はいたものの、提供中止となった → [質問 9](#) へ 6 施設
- 5月以降にドナー候補者はいたものの、提供中止となった → [質問 9](#) へ 17 施設
- 上記いずれも経験していない → [質問 10](#) へ 161 施設



9. なぜ提供中止となりましたか？

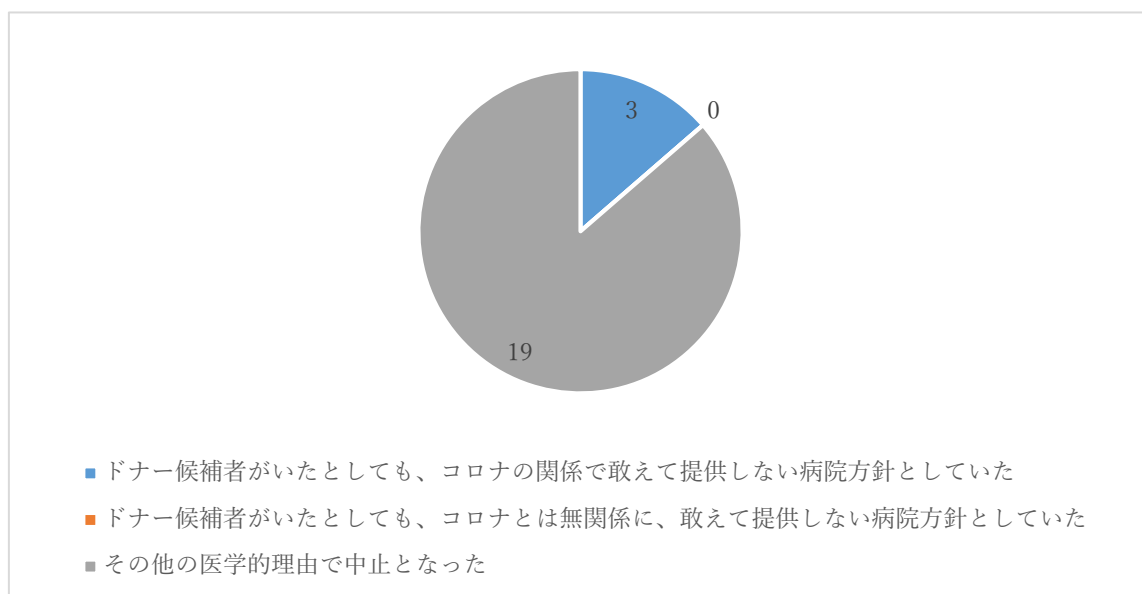
ドナー候補者がいたとしても、コロナの関係で敢えて提供しない病院方針としていた。3 施設

ドナー候補者がいたとしても、コロナとは無関係に、敢えて提供しない病院方針としていた。0 施設

その他の医学的理由で中止となった。19 施設

「その他の医学的理由で中止となった」施設におかれましては、差し支えなければその理由を以下に記載して下さい。

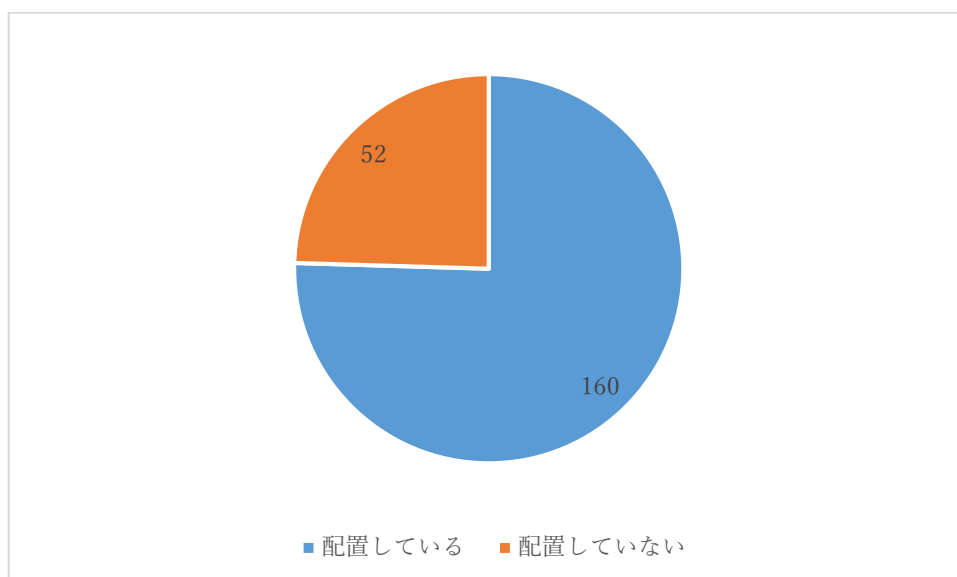
(16 施設回答)



10. 貴院では、院内コーディネーターを配置していますか？【単一回答】

配置している。 → [質問 11](#) へ 160 施設

配置していない。 → [質問 12](#) へ 52 施設



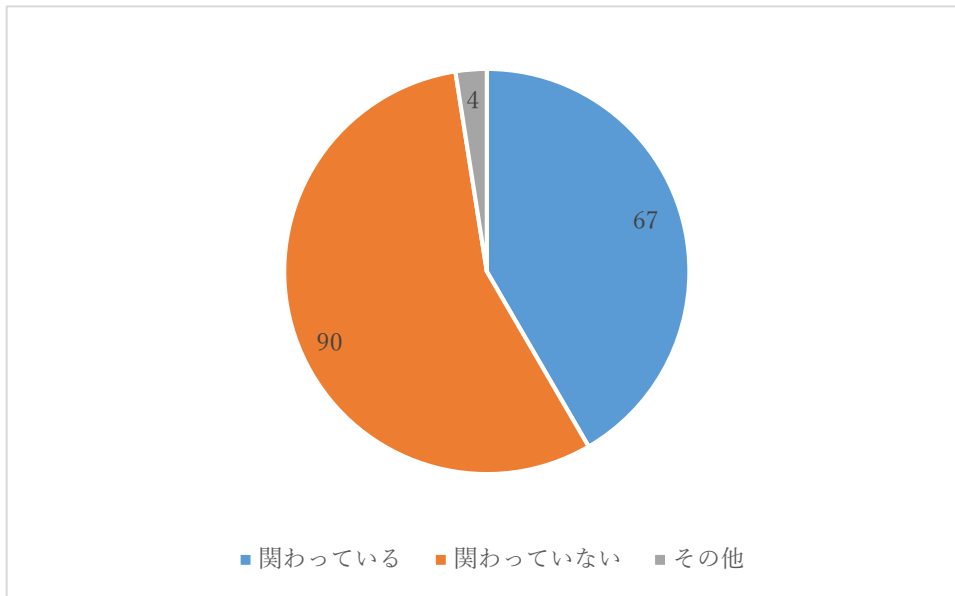
11. 院内コーディネーターが配置されている病院において、その職員は（コロナ病棟での勤務、勤務支援や主治医、帰国者接触者外来担当などの）コロナ診療に関わっていますか？

関わっている。 67 施設

関わっていない。 90 施設

その他 4 施設

(3 施設回答)



12. 法的脳死判定のうち、咽頭反射・咳反射の確認および無呼吸テストはエアロゾル発生の高リスク検査手技と考えられます。貴院では、これらの検査を行う上で特に留意したことはありましたか？
なお、2020年3月以降、脳死下・心停止下臓器提供を経験していない施設では、以下の設問を、「今後、コロナ禍で法的脳死判定を行う場合に」と読みかえてお答え下さい。

咽頭・咳反射の確認 48 施設

無呼吸テスト 43 施設

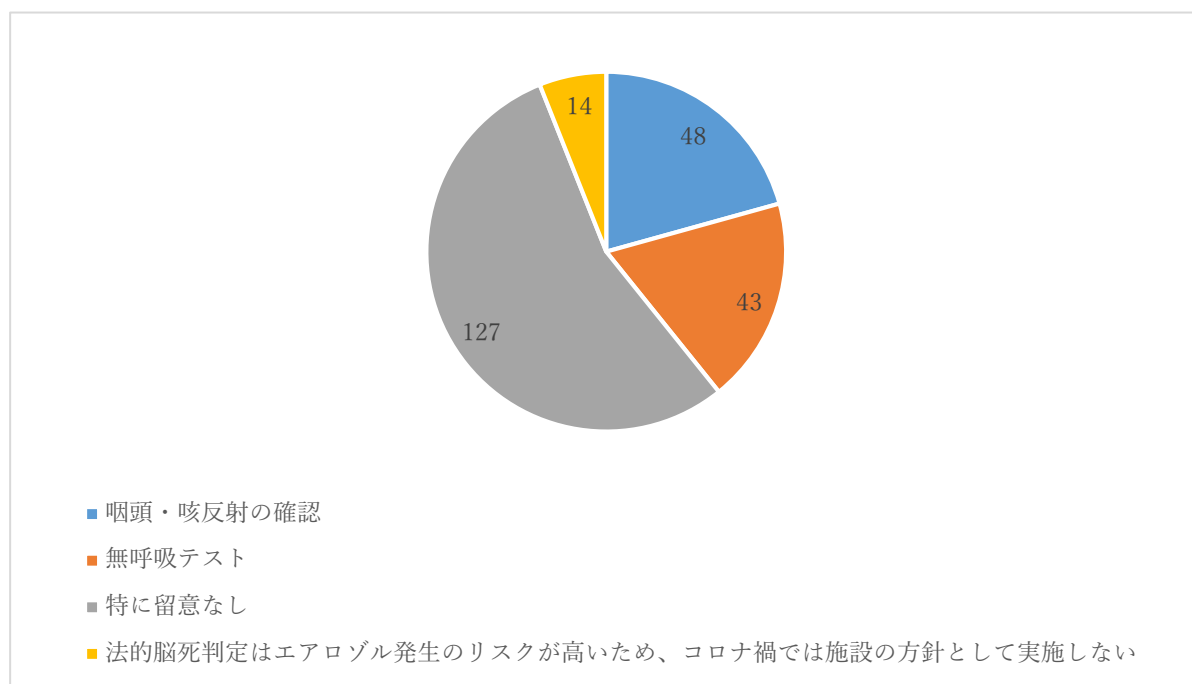
特に留意なし 127 施設

法的脳死判定はエアロゾル発生の高リスクが高いため、コロナ禍では施設の方針として実施しない。

14 施設

貴院での留意事項など、ございましたら以下に記載して下さい。

(52 施設回答)



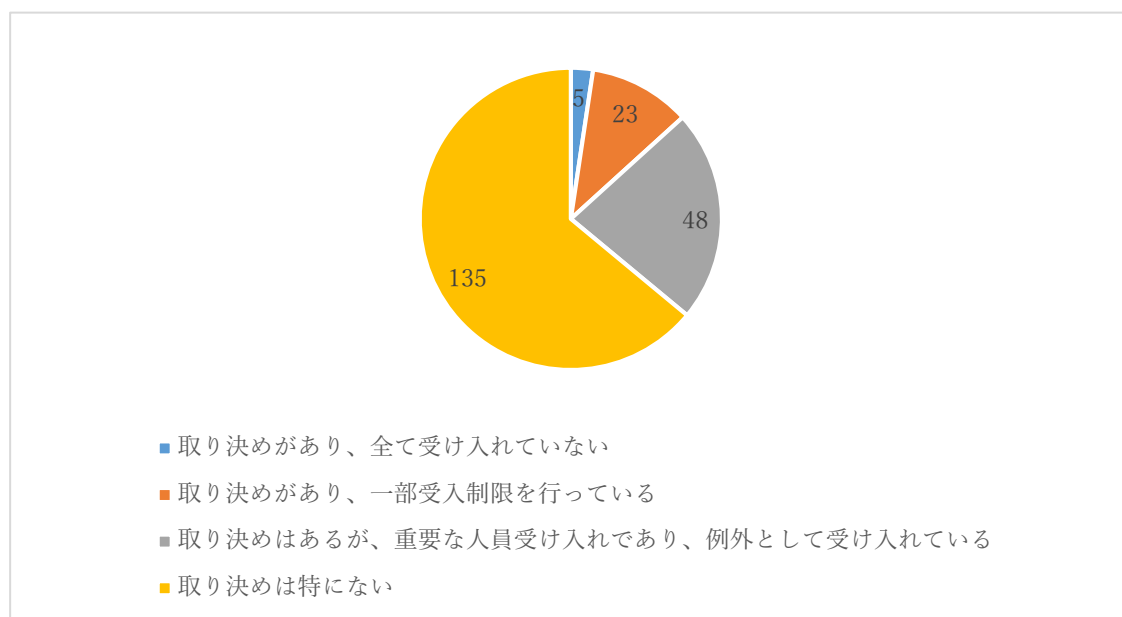
13. ドナー候補者が発生した場合、コーディネーターやメディカルコンサルタント、臓器摘出チームなど最大 30 名の人員が提供施設へ派遣されることとなります。貴院では、こうした人員受け入れに際し、院内で何らかを取り決めていますか？

- 取り決めがあり、全て受け入れていない。 5 施設
- 取り決めがあり、一部受入制限を行っている。 23 施設
- 取り決めはあるが、重要な人員受け入れであり、例外として受け入れている。 48 施設
- 取り決めは特にない。 135 施設

貴院での取り決めなど、可能でしたら以下に記載して下さい。

(38 施設回答) * アンケート記載からのまとめ

- ・ 流行地からの来院制限
- ・ 院内に入る前に検温・行動履歴の確認
- ・ 院内に入る前に抗原検査、PCRなどを施行
- ・ 事前に健康調査票を渡し対応
- ・ 院内の行動範囲、動線の限定



14. その他、臓器提供に関わることに留まらず、コロナ禍における救命救急センターとして、何かコメントございましたら以下にご記載ください。

(36 施設回答) *アンケート記載からのまとめ

- ・感染対策をしつつ救急医療が止まらぬよう取り組み（来訪者・スタッフともに手指消毒、衛生マスクの着用を徹底、時間的・空間的分離を考慮、Full PPEの適応、換気の徹底、入院患者全員にコロナ検査実施、コロナ禍であっても救命救急センターの機能は維持すべき）
- ・病床ひっ迫、マンパワー不足（PCR 陰性化でも肺炎像が強い場合は個室管理が解除できない）
- ・コロナ対応に追われ、臓器提供対応が難しくなった
- ・陽性での入院拒否や濃厚接触者の虚偽報告の対策に PCR 検査などに法的強制力を持たせてはどうか
- ・摘出チーム等他施設からの派遣者には PCR 検査（最低でも検温）を実施、術者には N-95 レスピレーターをお願いする可能性あり
- ・ゾーニングで対応できるなら臓器提供を中断する理由はない
- ・マンパワー不足のため臓器提供にならないよう病状説明してほしいと暗にいわれた
- ・ドナー候補者発生時の対応は国としての方針を明らかにしてほしい
- ・臓器提供を家族が受け入れられない現状があり、社会全体の意識改革が必要